

## 組織は小さくても、志はでっかく～これからの南小 PTA 活動のあり方を考える1年間～

令和3年度 今渡南小学校 PTA 会長 岩井淳

コロナ禍により組織的な動きができなかった令和3年度。それでも、一斉メールと学校ホームページを利用して皆様に呼びかけた結果、たくさんの協力が得られ、ほぼ例年通りの活動ができました。

### 制約＝クリエイティブ(創造性)

昨年度の経験は、PTA 活動をスリム化するヒントとなりました。令和3年度と4年度の二年間で、試行錯誤しながら、これからの南小のPTA活動のあり方を模索することにしました。

<課題>

- ・役員の数を減らす (毎年 70～80 名)
  - ・会議の数を減らす
- ↓
- ・役員の負担が大きい
  - ・選出されても仕事の関係等で積極的参加ができない

<めざす姿>

- ・会議の数を減らす
  - ・ICTを活用し、業務を効率化する
- ↓
- ・役員の負担を軽減する
  - ・「これならできる」＝積極的参加

### 来年度の挑戦

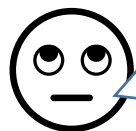
来年度は、思い切って、学年委員を選出せず、皆様の主体的参加により

PTA 活動を行います

役員になったから義務的に参加



今年はずいていない  
行きたくないが、行ってくる



「今年ががまんの年だね」  
「お父さん、お母さん、  
かわいそう」

できることをできるときに行う (主体的参加)



「これなら参加できる」  
「子どもたちのためになるなら  
1回ぐらいは参加しないと」



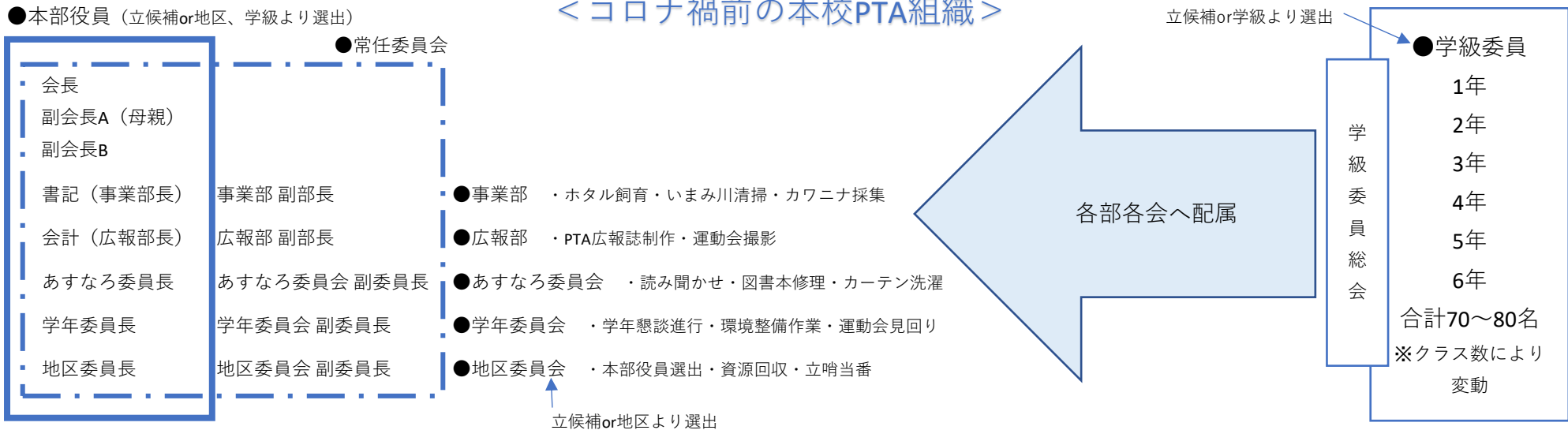
「がんばってきてね」  
「わたしも行こうかな」

学校は、高学年児童に、「じまんできる学校」を目指してほしいと願いながら学校教育を進めています。キーワードは、「自己実現」と「地域貢献」です。活動を通して、「苦手なことや初めて挑戦することに失敗を恐れず取り組み、集団の中で役立つ喜びや自分への自信につなげる子」の育成を図っています。

PTA 活動においても、会員の皆様が諸活動に主体的に参加し、「自らの背中で子どもに語る親」をみんなで目指しませんか？

……これからの PTA 活動のあり方を裏面のようイメージしています……

## <コロナ禍前の本校PTA組織>



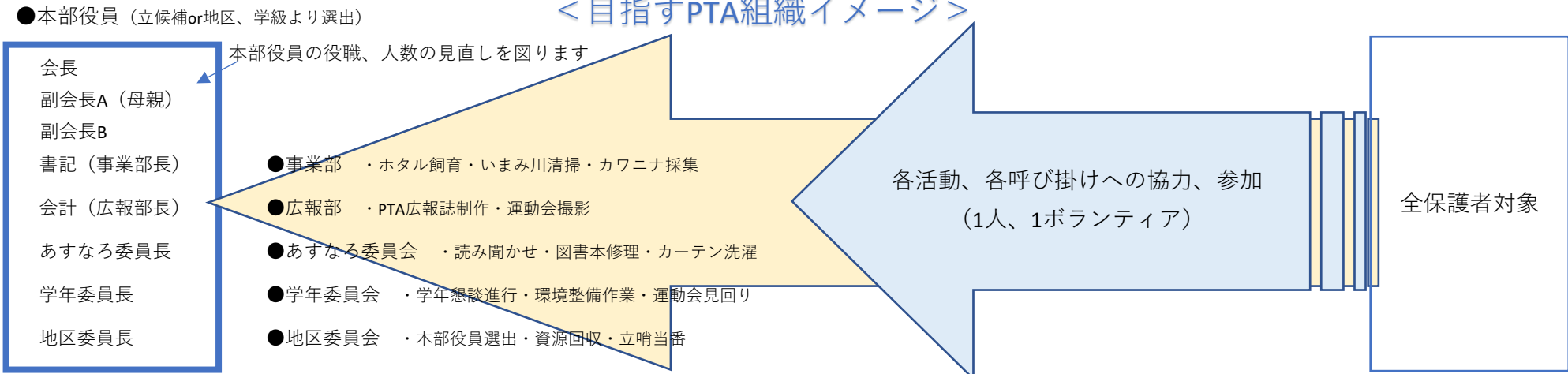
### 常任委員会の役割

予算、決算、事業、人事、規約の改正等を審議し、総会への議提の可否及び内容等につき決定すること

### 常任委員がなくなった場合（例）

本部役員が学校のホームページに情報を掲載し、会員が一斉メールのアンケート機能を使って、賛成・反対の意思表示をする。  
本部役員だけで物事を決定するのではなく、重要な案件は、会員の皆様の投票により決定します。

## <目指すPTA組織イメージ>



本部役員からは、「奉仕的な活動への参加」だけでなく、「企画・運営への参加」もお願いすることにします。例えば、PC操作や写真撮影が趣味の方、ワードやエクセル操作などが得意な方が、PTA広報づくりに参加し持ち味を発揮するなど、皆様のお力を子どもたちのために発揮していただきますようお願いします。